

登録コード	A3596430	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究					担当教員	竹田 謙一
英文授業名	Thesis Research						
単位数	5	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	
						備考	教員内線電話:2420（講座名:動物資源生産学, 研究室名:動物行動管理学）
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					専門的な知識や研究能力を修得している	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している	
	2 0 2 6 A3 編（24A）, 2 0 2 5 A3 編（23A）, 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	各自が設定された研究テーマにしたがって、実験等を進め、得られたデータを解析し、結論を導きます。 また、動物行動学に関する知識を養い、その基礎的アプローチを応用して、人と関わる動物との関係構築を総合的に捉えられる能力を身につけます。						
(5)授業計画	下記の内容に沿って、専攻研究のテーマを設定します。 アニマルウェルフェアに配慮した家畜管理技術の開発 動物は様々な行動欲求を持っていますが、飼育管理下では、その行動も制限されます。限られた環境の中で動物が感受しているストレスを少しでも軽減できる技術開発や新たな飼育環境の提案を目指しています。このような飼育環境の改善は、環境エンリッチメントともいわれており、アニマルウェルフェアへの関心が高まっている今日、生産物の付加価値向上にもつながると考えられます。 そこで、主にウシやヒツジを対象動物として、家畜の飼育環境のアニマルウェルフェア評価法の開発、ならびに、動物の快適性を向上しうる畜舎環境の改善方法を研究しています。 研究は、附属AFC（構内農場、野辺山農場）だけではなく、一般の牧場や他大学、試験研究機関の牧場を利用することもあります。						
(6)自主学習の指針	下記参考書を活用し、各自の基礎知識の向上に日々、努めてください。						
(7)成績評価の基準	専攻研究 での主たる内容は、卒業論文の作成です。これら3点の内容を総合的に判断します。そして、その内容が授業の達成目標の水準から見て、『卓越している』＝秀／『かなり上にある』＝優／『やや上にある』＝良／『その水準にある』＝可とします。						
(8)事前事後学習の内容	専攻研究 に関わる最新の原著論文を探索し、最新の情報を入手、整理してください。また、ゼミで指摘された点については、修正ののち、指導教員への確認を怠らないでください。						
(9)テストやレポートの予定	テストやレポートは課しませんが、卒業論文の提出は必須です。						
(10)成績評価の方法	卒業論文提出（70点）、専攻研究発表（20点）、研究への取り組み姿勢（10点）により、総合的に評価します。90点以上を「秀」、80-89点を「優」、70-79点を「良」、60-69点を「可」、59点以下を「不可」とします。 卒業論文を提出しない人には、単位を認定しません。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	研究室在室中は、常に対応します。 竹田謙一（0265-77-1427, ktakeda@shinshu-u.ac.jp）						
(12)履修上の注意	専攻研究 を実施する上で、動物系の講義、実験、実習は必要となるので、可能な限り受講しましょう。フィールドワーク（野外実験）が多いので体力、気力が必要です。実験室内での研究も可能ですが、研究試料は野外からサンプリングします。動物のありのままの姿、生き様、生命の誕生を垣間見たい人は大歓迎です。ぜひ、一緒に研究して、動物が、人間が快適に暮らせる環境を創造しましょう。 本専攻研究を選択する人は、2年後期開講の「動物管理学」、3年前期開講の「アニマルウェルフェア科学」を優秀な成績で単位修得していることが必須です。						
【教科書】	特に指定しませんが、下記参考書のいずれか1冊を購入し、専攻研究に活用してください。						

【参考書】	家畜行動学(三村耕編著,養賢堂) 家畜行動学図説(佐藤衆介ら編著,朝倉書店) 家畜の管理(野附・山本編,文永堂) 行動研究入門(マーティン・ペイトン,東海大出版会) 行動生態学(クルース・デ・ス,蒼樹書房) 動物の認知学習心理学(ピアース,北大路書房)
-------	---